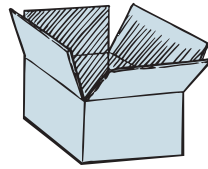


ダンボールコンポストの作り方

準備するもの

まずは
道具を用意
しましょう！

- ①ダンボール(野菜やくだものが入っていた厚いダンボールが丈夫で長持ち！
底はダンボールを二重にする)
- ②ピートモス15リットル・もみがらくん炭10リットル
- ③ダンボールを置く台(ビールケース等で風通しをよくする)
- ④かき回すためのスコップ ⑤虫除けキャップになる布地 ⑥温度計



作り方

準備ができたら、
さっそく
チャレンジ！

ピートモスともみがらくん炭を、ダンボールに入れよくかき混ぜます。
家族4人が1日に出す生ごみの量およそ500グラム～1キログラム
を入れ、よく混ぜ込みます。
これをごみが出たときに繰り返します。

入れているもの

野菜くず、果物の皮、卵の殻、魚の内臓・骨、
お茶の葉、コーヒーかすなど。塩辛いものは
水で洗ってから入れます。

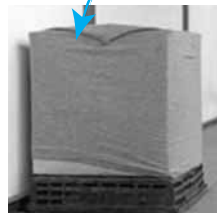
入れてはいけないもの

貝殻



ここで注意！

- 虫が中に入らないように、布のキャップをかぶせます。
- 布キャップは着なくなったTシャツなどを切って、帽子のように縫って作ってみましょう。
- 設置は雨のかからない軒下、ベランダなど風通しの良い場所が最適です。
- 1週間ほどたつと中の温度が50～60℃ほどになることもあります。
これは微生物が活発に活動している証拠です。温度が高いと虫
の予防にもなります。
- 微生物の活動のものは「栄養(生ごみ)、酸素、水」です。かき混ぜ
て酸素を送ります。
- 3カ月を目安に、生ごみを投入。3カ月ほどたったら、生ごみを入
れるのをやめ、週に1回水分補給とかき混ぜを行ないます。これ
を3週間ほど続けると完成です。黒味があった色が目安です。
園芸や野菜づくりに使ってみましょう。



どれくらいごみ減量になるの？

本当に減量に
つながってるの？
CO2削減でき
てるのかな？

1日500gの生ごみを処理したとして、3カ月ダンボールコン
ポストに取り組むと約45kgの生ごみ減量になります。
1kgの生ごみを減量させることで0.35kgの二酸化炭素を
削減することができます。(NPO法人循環生活研究所調べ)
ダンボールコンポストで1日500gの生ごみを処理したとして、3カ月処理をした
場合、 $0.5\text{kg} \times 90\text{日} \times 0.35\text{kg} = 15.75\text{kg}$ の二酸化炭素削減になります。
1kgの二酸化炭素の体積はサッカーボール100個分とされていますので、
3カ月でサッカーボール1500個分以上の二酸化炭素を削減することになります。



ダンボールコンポストで

ごみ減量大作戦



「ダンボールコンポスト」って
知っていますか？
ダンボールを使って生ごみから
堆肥をつくる方法です。ダンボ
ールでできるという点、生ごみから
肥料ができるという点、そして何
よりごみ減量につながるという点
からだれでも気軽に取り組めるエ
コロジーとして最近急速に広がり
を見せています。
ダンボールコンポストは、ダン
ボールと、もみがらくん炭、ピート
モス、基本的にこの3点があれば
できます。ダンボールの中に、もみ
がらくん炭とピートモスを入れ、
あとは生ごみをその中に入れて混
ぜ込むだけです。これを生ごみが
出たときに繰り返します。微生物
が生ごみを分解して、あっくら不
思議。生ごみは跡形もなく消えてし
まいます。

でも始める前は、毎回混ぜるな
んてめんどくさそうだし、におい
がしう...、本当にうまく処理で
きるの？なんて思ってた尻込みし
がち。
そこで、ここでは、ダンボールコ
ンポストの作り方などを紹介しま
す。これを読んだらダンボールコ
ンポストのイメージが変わるか
も！
あなたも「レッツチャレンジ！ダ
ンボールコンポスト」地球に優
しいエコライフ」を始めてみま
せんか。

